

正会員
京都大学大学院工学研究科
都市社会工学専攻 助教授
木村 亮
KIMURA Makoto



銅像建つまでやるぞ！

私は 1993 年から JICA の短期専門家として、ケニアで大学づくりと人づくりの仕事をしてきた。土のことを扱える大学人はいなかったの、長い目でみて学生から育てることにした。私が教えた、ジョモケニアッタ農工大学の土木工学科 1 期生 23 名の中から、一人の若者を選んだ。「僕はケニアの国の発展のために研究者になりたい」という熱心さに賭けた。

文部省（現・文部科学省）の国費留学生になれず、やむなく北京の精華大学で修士を取らせた。中国政府の月 70 ドルの奨学金。「漢字が読めない、ものすごく寒い、生活費が苦しい」と泣き言のファックスが何度も届いた。中国に来る前に結婚し、若い嫁と離れ離れの生活。2 年目の冬、お金を工面して、ケニア行きの往復航空機代を送金した。3 年目に突入し、北京に彼を訪ねた。修士が取れば必ず博士を取らせると、食事しながら励ました。「中国でこんなにお腹一杯食べたことはない」と言われ、涙した。2 人で天安門広場を歩いた。

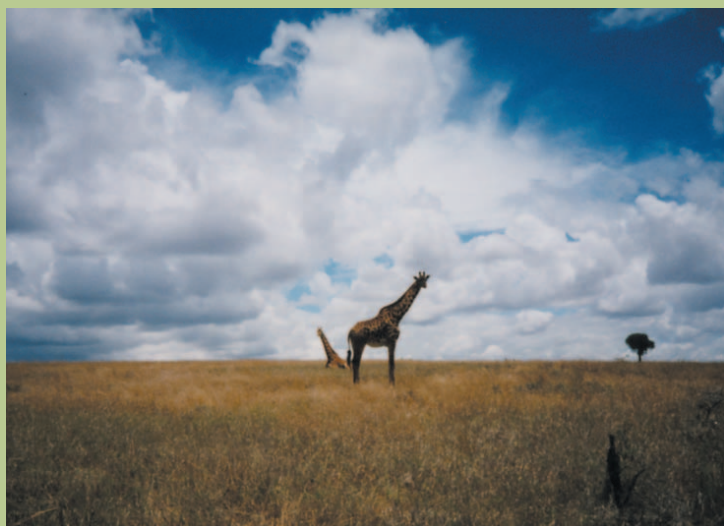
一昨年なんとか京都大学で博士を取らせ、10 年かけて「土いじり」の研究者の雛に育てた。人材育成には時間がかかる。明治初期のお雇い外国人学者の心境で、今も新たな気持ちで大学

人を育てている。

「学校の前に銅像が建つまでやるぞ！」と始めから勢い込んでいた。木彫りが得意なカンバ族の学生に「木像ならいつでも



大学 1 期生の 23 人の学生たちと



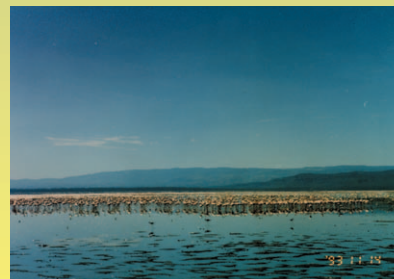
草原と雲と青空と 2 匹のキリン

できる。僕の親父に彫らせる。写真があるといい」と小声で言われている。とても楽しい仕事である。

野生動物の宝庫

ケニアといえば野生動物である。塩水湖の湖面をピンクに染めるフラミンゴの大群。草原をゆっくり歩くキリンと、木陰で昼寝をする親子チーター。動きが面白いイボイノシシと、悪賢さがにじみ出ているハイエナ。疾走するダチョウと、結構グロテスクなアフリカハゲコウ。そのなかでも、私がこの目で見て最も印象深かった動物は、夜に間近で見たアリクイである。

4 輪駆動車の屋根が上に開くジープに乗って行う動物観察（サファリ）は、昼間限定である。理由は簡単で、国立公園では夜はサファリが禁止



湖を埋め尽くすピンクのフラミンゴ



されているからだ。ところが、私が好きでよく行ったロッジは、私有地ゆえナイトサファリと称して夜に動物を見せていた。アライグマがペロペロと出した舌は、異様に細く長かった。これに蟻をくっ付けて食すのか。

昔海岸からアフリカ内陸部を探検した人びとは、現ウガンダの肥沃な大地を「アフリカのスイス」と呼び、海岸線のモンバサからビクトリア湖まで鉄道を引いた。その中継地点が、「泉の出る場所」という意味のナイロビであった。当時のナイロビには、動物がごまんといたらしく、「動物を捕獲するために鉄砲を撃つ場合は、間違っただけに真上にさえ撃たなければ、何がしかの動物に当たる」と言われていた。見渡す限り動物だったのであろう。

赤道を跨いだ攻防

ナイロビから北に車で4時間走れば、赤道にたどり着く。ただし、ナイロビ側から来たときに、始めに見える黄色に赤縞の看板は「偽赤道」である。「偽赤道」ができる理由は簡単である。赤道なら観光地なので観光客は止まる。観光客をあてにしてお土産物屋ができ、みんなが潤う。

写真は本物の赤道であるが、直下に青いバケツと白い漏斗が置かれている。これは何か。「コリオリの力」の現地実験装置である。地球

は自ら回転している。北極点の上から地球を眺めると、反時計回り回っている。そのため、北半球では右向きのコリオリの力が働く。台風の渦が北半球で反時計回りなのは、風が台風の目に向かって進む際にコリオリ



モンバサの椰子の下での笑顔

の力を受けるためと説明できる。「洗面台に水を溜め流すと、北半球であれば反時計回りに、南半球では時計回りに渦を巻く」と聞きかじり、渦を眺めたことが皆さんありませんか。

観光客がこの看板に近づくと、どこからともなく男が現れ、簡単な実験を見せるという。赤道より1m北で、洗面台の栓を抜くことと同じことを、漏斗の中に水を入れ実行するわけである。反時計回りの渦になり流れる。赤道の南1m、つまり南半球でやるとどうなるか。あら不思議、時計回りの渦。

「皆々様、これが北半球と南半球と赤道だ!! はい、帽子の中にお金を入れてね」ということになる。他のお土産物屋も見てねと、お土産物屋に連れて行かれる。赤道を跨いだたった1mの違いで、渦の方向に違いができるのか。理科系ほど考えだすとややこしくなる。ぼっとしている間に、いらぬものまで買う羽目になる。

物の本には「台風や海流などの大規模なものにはコリオリの力が作用するが、漏斗の中の水など小規模なものには作用しない」とある。漏斗から水を流すときに流し方の微妙な差を、南半球と北半球で変えているのだろう。あっぱれ、相当練習したな。アフリカ奥深し。



ここが赤道直下の現地実験場